



パール缶最大手のジャパントーンの中に白い輪が際立つペール(本社・大阪市西区、造りが特徴。活力が出て生き社長・黒田肇氏)は、世界的生きと仕事ができ、未来的なデザイナー、コシノジュンめに素晴らしく役立つなどとコ氏のデザインによる新しいといったコンセプトのもと手がユニフォームを製作した。つけられた。

アクトリリー(工場)、オフィ 会社設立から15年目の20ス(事務所)用の2スタイル 18年、コシノジュンコ氏があり、4月から着用する。手掛けるブランド「JUNK

新しいユニフォームは、ペ O KOSHINO」に新しい丸缶の「丸」が「未来」やいロゴのデザインを依頼した「宇宙」をイメージし、モノのがきっかけ。ジャパnP

ルが本社を置く大阪の出身という縁もあり、コシノ氏からコラボレーションの快諾を受けたという。

同社では先週1日に「New Symphony by Japan Pail 2020」をテーマ

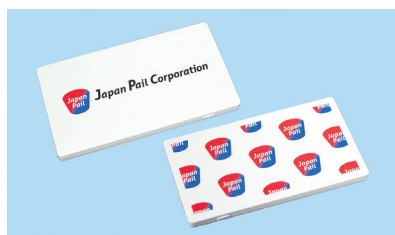
ジャパnPールが新ユニフォーム コシノジュンコ氏がデザイン

に、千葉・浦安のハイアット薄板事業部長が挨拶。新しいプレイス東京ベイでユニフォームに袖を通した黒田社長の一連の経緯を踏まえ、株主の関係者ら約50人が出席した。

会場では、コシノ氏がコメントを寄せたほか、来賓を代表してメタルワンの佐藤宣之

ノベルティグッズも開発

ジャパnPールは「JUNK KOSHINO」とのプロジェクトの一環で、し、社員やその家族を含むノベルティとしてエコバッグ「一般向け」を想定して検討。



「JUNK KOSHINO」のディレクターも参加し、テレビ会議を活用したワークショップなどを通じて考案した。

